記入日：西暦 2026 年 8 月 31 日　第 1.0 版

表題：　胆道癌切除例における術後 S-1 補助療法の有効性:単施設後方視的検討

1．研究の対象

対象となる方：　西暦 2011 年 1 月 1 日から西暦 2025 年 12 月 31 日に、栃木県立がんセンターの肝胆膵外科を受診し、胆道癌の診断を受け、手術治療した方のうち、本研究の対象とする症例に該当する方を対象とします。

2．研究目的・方法

目的：　胆道癌に対する治療は近年の化学療法の進歩により成績向上が報告されている。JCOG1202 試験により、切除可能胆道癌に対する術後補助療法として S-1 内服が標準治療となり、当院でも 2021 年より導入した。本研究では、当院での胆道癌切除例における術後補助療法導入前後の治療成績を検討し、第 62 回日本胆道学会学術集会で発表する

研究期間：　研究実施機関の長の許可日から西暦 2026 年 10 月 16 日まで

3．研究に用いる試料・情報の種類

■　カルテ情報（氏名、住所、電話番号など個人を特定する情報は除く）

■　画像　　■　検査結果　　□　血液　　□　尿・便　　□　腫瘍組織

□　その他（詳細：＊＊＊）

4．外部への試料・情報の提供

□　あり（提供先：＊＊＊）

■　なし

5．外部への試料情報の取扱い

□　あり（提供先：＊＊＊）

提供方法：□配送　□インターネットを介して　□ その他（詳細：＊＊＊）

保管場所：

保管責任者：

保管期間：

当センターにおける管理責任者：栃木県立がんセンター 理事長　尾澤　巖

対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

■　なし

6. 研究組織

栃木県立がんセンター　　肝胆膵外科科　　白川　博文

7. 利益相反

本研究の実施にあたり開示すべき利益相反関係にある組織・団体等はありません。

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さん又は患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ただし、お申し出いただいた時に、既に研究結果が論文などで公表されていた場合等は、対応できないことがあります。

※照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：
地方独立行政法人栃木県立がんセンター
〒320-0834　栃木県宇都宮市陽南 4-9-13
電話：028-658-5151　FAX：028-658-5297
研究責任者所属部署：肝胆膵外科
研究責任者氏名：白川　博文